

全国保険医新聞

発行所 全国保険医
団体連合会
東京都渋谷区
代々木2-5-5
☎151-0053
新宿農協会館内
☎03(3375)5121
FAX 03(3375)1885
発行人/住江 憲勇
振替口座00160-0-140346
購読料千円1ヵ月750円
(会員の購読料は、会
費に含まれています)
http://hodanren.
doc-net.or.jp/

主な記事

- ▼患者受診実態調査結果の概要……………2面
- ▼政策解説「高齢者医療制度―窓口負担2割へ増徴化方針」3面
- ▼「事業税非課税、4段階税制の見直し論議」が大詰め……………4面
- ▼堀場英也保団連顧問を徳ぶ会を開催……………5面

保険業法の再改定実現へ

自主共済継続可能に 「助け合い制度守れ」の声実る

自主共済の継続を可能にする保険業法再改定法案は11月2日、衆議院財務金融委員会、野党の質疑の後、総員一致で可決、4日に本会議で可決した。参議院では11月11日に委員会可決、翌12日の本会議で成立の見通しとなった。

2005年の改定保険業法により、非営利で、同列にみなし、規制した会員同士の助け合いとして、保団連の休業保障を運営している共済制度。制度を含め、多くの自主共済は、保険業には当たらず、当初政府は一切の例外となつた。

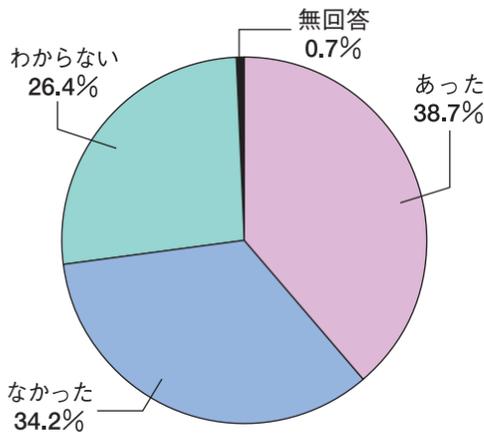
この法案は、これらの共済制度について、特例を設け、当分の間継続ができるようにするもの。保団連は、対象を団体内に特定し、非営利で行っているような共済は、保険業には当たらず、当初政府は一切の例外となつた。

この5年間で、180万筆を超える適用除外を求める署名、238自治体の意見書採択、加入者からの制度存続の声の集約や国会議員要請などの取り組みを行ってきた。当初政府は一切の例外となつた。

受診実態調査

経済的理由の治療中断 38.7%の医療機関で

図 最近、経済的理由と思われる治療の中断はあったか。



「気管支ぜんそくの患者が、発作をがまんし、来院したときには手をつけられない状態」、「骨髄性白血病の患者から薬が高く服用をやめた」と相談を受けた。保団連が各保険医協会・医会に協力を呼びかけて実施した「受診実態調査」(33協会・医会、9677医療機関で実施)で、患者の経済的理由が調査結果概要。

「治療中断・中止を経験した医療機関が回答医療機関の38.7%に上ることが明らかになった(図)。また、医療費負担を理由に、患者から検査や治療、投薬を断られた経験のある医療機関は43.1%に上る。

調査結果から、患者が世界に比べても異常に高い窓口負担のために受診を抑制し、必要な医療を受けられない深刻な事態が浮き彫りになった。保団連では、調査結果をマスコミに発表することとしている(2面に)。

を認めないという姿勢で進んである。2日の委員会では政府参考人から、実態を適切に勘案していききたいとの答弁があったが、自主共済があることを認め、今回の法改定となった。本来要請していた適用除外ではないが、これらの共済の救済という法の趣旨は、適用除外に向け、一歩前

歯科医療の危機解消へ 取り組みを交流

保団連歯科全国交流会



馬場副会長が基調報告を行った歯科全国交流会

保団連は10月31日、東京都内で第11回歯科全国交流会を開催した。交流会には36の保険医協会・医会から歯科医師80人を含む131人が参加した。集会では、馬場淳保団副会長の基調報告を受けて討論が行われ、「イレバデーからイイハデー」(詳細と決議は7面)

4条が規定する見直しの時期について、「適当な時期」としているところを、正案が提案され、可決された。



公約を守らないから

高村 忠範

新年号への投稿 募集中

2011年新年特集号への「会員投稿」を募集しています。テーマは自由です。俳句・川柳・詩・随想・写真など季節のものを歓迎します。本文字数は600字前後を厳守してください。住所、氏名、年齢、FAX・電話番号は明記の上、下記にお送り下さい(FAX番号は著者校正用に必要です)。締め切りは12月8日。掲載の可否は編集部で決定します。送り先 渋谷区代々木2-5-5 全国保険医新聞新年号募集係 FAX: 03(3375)1885 ※採否の連絡、原稿等の返却は致しません。

保険医年金の遺族年金受給者の 所得税還付に関するお知らせ

3面

羅針盤

たばこの価格が10月から大幅に値上がりした。値上げはたばこ税引き上げを受けたものだが、今回の特徴は税増のためではなく、健康面に配慮して消費抑制を狙った点である。たばこの価格の6割は税金に充てられ、税収は国と地方で計約2兆円と大きな額を占める。値上がりしたといっても、欧米と比べるとまだ安い。欧米では禁煙指導を進めており、1箱1000円程度のたばこも珍しくない▼厚生労働省は「国民の健康のためにさらにはたばこ税を引き上げる」との姿勢をみせている。たばこの箱には「肺がんや死亡する危険性は非喫煙者の約2倍から4倍」と書かれており、健康被害への認識も深まっている。本人は危険性を承知していても、周りで煙を吸い込む人の健康も損なう可能性がある。たばこは酒と同じく嗜好品で、たしなむのは本人の自由だが、周りの人にも健康被害を与えることを喫煙者は自覚する必要がある▼今回の値上げで、「禁煙外来」を受診する人も増えている。禁煙グッズも売れている。健康のために禁煙を決心してほしいが、くれぐれも他人に迷惑をかけないよう喫煙してほしい。(千)